

ニュースレポート

令和4年5月10日

報道機関 各位

文化財課 文化財係

赤穂城跡プロモーションムービーが、「ニューヨーク・フェスティバル」のファイナリストに入賞しました。

下記のとおり報告いたしますのでよろしくお願いいたします。

行事・事業名	赤穂城跡プロモーションムービー「赤穂城跡 物語のはじまり」が、国際コンテスト「ニューヨーク・フェスティバル」のファイナリスト入賞を果たしました。
日時	令和4年4月27日（日本時間）発表
場所・住所	—
趣旨・目的（PRしたいこと）	<p>国際コンテスト「ニューヨーク・フェスティバル」の最終結果が、日本時間4月27日（水曜日）に発表され、赤穂市が令和2年度に制作した赤穂城跡プロモーションムービー「赤穂城跡 物語のはじまり」（英題“AKO CASTLE WHERE THE STORY OF 47 SAMURAI BEGAN”）が、TV&FILM AWARD（テレビ・映像賞）のCORPORATE IMAGE（企業イメージ）カテゴリー、TOURISM（ツーリズム）部門のファイナリストとして入賞しました。</p> <p>詳細は、別紙をご覧ください。</p>
問い合わせ先	部課係名：赤穂教育委員会文化財課文化財係 担当者名：荒木幸治 電話：0791-43-6962 内線（ 2326 ） FAX：0791-43-6895

○添付資料（・無） ○ホームページへの掲載（有・） ○議会報告（有・）

1. ニューヨーク・フェスティバル (NEW YORK FESTIVALS) とは

ニューヨーク・フェスティバル (<https://www.newyorkfestivals.com>) は、1957年に設立された、国連が共催する世界最大の国際コンテストです。透明性のある審査システムが特徴で、約400人の審査員がカテゴリ毎に作品をオンライン審査してショートリスト（最終選考作品）を選出し、次いで世界のチーフ・クリエイティブ・オフィサー20余人が一堂に会し、ショートリストから全カテゴリー横断で受賞作品を選出します。

このフェスティバルには、本映像がノミネートされた TV&FILM AWARDS（テレビ・映像賞）のほか、ADVERTISING AWARDS（広告賞）、RADIO AWARDS（ラジオ賞）、MIDAS AWARDS（オーディオ賞）、GLOBAL AWARDS（グローバルヘルスケア賞）、AME AWARDS（プロジェクト賞）の6賞があり、「Concept Idea（アイデア）」「Brand Relevancy（ブランド）」「Production Execution（アウトプット）」の3点を評価基準としています。

ショートリスト（最終選考作品）の審査により金賞、銀賞、銅賞が表彰され、選出されなかった作品は「ファイナリスト」入賞と呼ばれます。

2. 赤穂城跡プロモーションムービーの入賞について

赤穂城跡のプロモーションムービーは、TV&FILM AWARD（映像賞）の CORPORATE IMAGE（企業イメージ）カテゴリ中の TOURISM（ツーリズム）部門に応募し、惜しくも金・銀・銅賞は得られませんでした。ファイナリスト19点のうちの一つとして、入賞することができました。

日本で制作された作品で TV&FILM AWARD にファイナリスト入賞したのは、NHK、(株)電通、関西テレビ放送(株)、(株)フジテレビジョン、(株)毎日放送、静岡放送(株)、中部日本放送(株)、RKB毎日放送(株)、(株)テレビ朝日、読売テレビ放送(株)が制作した映像と本市の映像であり、映像関連企業制作作品が占めるなか、行政制作作品としては、赤穂市が唯一となりました。

また TOURISM 部門では、ポルトガル、ギリシャ、オーストリア、スペイン、アメリカ、ポーランド、リトアニア、フィンランド、クロアチア、ブルガリア、カタールで制作されたファイナリスト19作品が並ぶ中、唯一の日本制作作品となりました。

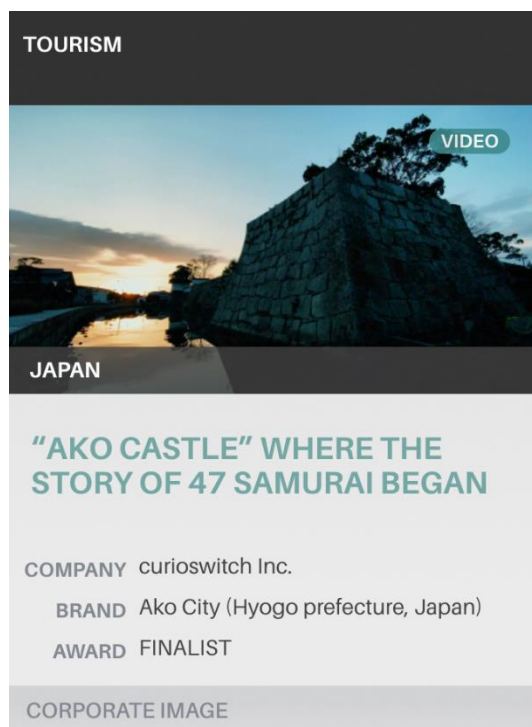
ニューヨークフェスティバルの Web サイトより

<https://tvfilm.newyorkfestivals.com/Winners/WinnerDetailsNew/>

71045fe5-2ff5-43b0-90a9-9be6b2a810f8



←QRコード



贈呈されたファイナリストバッジ

3. 赤穂城跡プロモーションムービーについて

赤穂城跡のプロモーションムービーは、令和2年度に、赤穂市が公募プロポーザルによって委託した株式会社 curioswitch が制作したもので、4K 画質による赤穂城跡の美しい映像とともに、歴史学者の磯田道史（いそだ・みちふみ）氏（大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国際日本文化研究センター教授）が見どころを解説するなど、赤穂城跡の魅力を余すところなく表現した映像作品（本編 15 分、ダイジェスト版 2 分）となっています。

言語は日本語版と英語版があり、今回の受賞は英語版によるものです。

英語版アドレス <https://www.youtube.com/watch?v=a6mRt-any0U>

（「AKO CASTLE WHERE THE STORY OF 47 SAMURAI BEGAN」検索でも可）